

受付	個人質問	第号
	令和年月日	時分

## 一般質問＜個人＞発言通告書

令和5年9月27日

長久手市議会議長 殿

長久手市議会議員 水野勝康

会議規則第59条第2項の規定により下記のとおり通告します。

	質問事項及び要旨	備考
1	<p><b>新市長の方針全般について</b></p> <p>吉田一平市長が任期満了により退任し、新たに選出された佐藤有美市長が就任した。佐藤市長は市長就任直前まで市議会議員として4期12年活動されてきたので、その人物・識見については既に多くの市民・市職員の知るところであるが、改めて議会の場において、市長としての方針について問う。</p> <p>(1) 長久手の歴史の中で自らをどのような役割を担う市長と位置付けるか。</p> <p>(2) 吉田一平市長の12年間について、市長としての立場からどのように評価するか。</p> <p>(3) 市長は補助機関となる職員を指揮監督する立場にある。職員の育成・配置・活用の方針をどのように考えているか。</p> <p>(4) 委託事業者や指定管理者など、直接市長の監督が及ばない公共サービスを担う事業者の人材育成・人材活用についてどのように考えているか。</p> <p>(5) 長久手市においては「共生」の理念のもと、市民参加のまちづくりが進められてきた。市民参加者もまた公共サービスを担うものと捉える必要があるが、こうした人々の育成・活用についてどのように考えているか。</p> <p>(6) 長久手市だけでなく、日本全国において指定管理、委託など公共サービスの外部化が進められてきた。また、</p>	

	<p>企画立案をコンサルタントに委ねてしまうケースもまま見受けられる。こうした傾向について、どのように考えるか。</p> <p>(7) 市長選挙で他候補が掲げた政策についてはどのように評価するか。</p>	
2	<p><b>18歳年度末までの医療費無償化について</b></p> <p>先の市長選挙において、佐藤市長は公約として18歳年度末までの医療費無償化を公約として掲げた。子ども・子育て支援として、特にこの公約の実現に対する期待は大きい。推進する立場として問う。</p> <p>(1) 実現する決意に変わりはないか。</p> <p>(2) 無償化はどのような仕組みで行うか。</p> <p>(3) 実施までのタイムスケジュールはどのように考えているか。</p> <p>(4) 財源についてはどのように考えているか。</p> <p>(5) 無償化することによる問題についてはどのように考えているか。</p>	
3	<p><b>通学路の危険性等に関する情報共有体制について</b></p> <p>通学路の安全確保は、議会の一般質問でも多くの議員が取り上げており、子どもを多く抱える長久手市にとって重要な課題である。通学路の危険性や要望については、親、学校、地域住民等様々なところから寄せられているが、これらの情報や要望については、解決のためには市役所の各部署・学校等と連携して取り組む必要がある。所管部署間での情報・要望の収集・整理・分析・情報共有の体制はどのようにされているか。</p>	
4	<p><b>相談窓口における相談員の安全対策について</b></p> <p>市役所の各種相談窓口は市民と行政が交わる第一歩であり、ここが疎かにされてはそこから先の対応に進めない。一方で、相談窓口におけるハラスメント・暴力が全国的に問題となっている。対策について問う。</p> <p>(1) 窓口対応している職員に対するハラスメント・暴力の防止として、どのような取り組みをしているか。</p> <p>(2) 問題発生時の職員間・部門間の連携はどのように行っているか。</p> <p>(3) 相談員に対する安全教育はどのようなものか。</p>	

	(4) 精神的負荷を受けた相談員に対するケアはどのようなか。	
--	--------------------------------	--